



第 11 号

平成 20 年 1 月 28 日 発行

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71
TEL/FAX 078-925-9418

デザイン・印刷

株式会社 サラト

〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>



ごあいさつ

同窓会会長 池 原 由布子

今年度をもって、兵庫県立看護大学で 11 年間学長を、兵庫県立大学で 4 年間副学長として私たちを引っ張って来て下さった南裕子先生が退官されることとなりました。この間、全国で初の看護系単

科大学の創立から兵庫県立大学への統合という大きな出来事がありました。また、平成 16 年には、我が国で初めての看護学に関する本格的な研究所として開設された地域ケア研究所の所長にも就任されました。兵庫県立大学創立以降は、神戸に大学の本部を置きながら、地域ケア研究所を拠点として活動されていました。

また、日本看護協会会長を務められた後、国際看護師協会 (ICN) の会長も務められ、国際的に活動されています。また、昨年は、横浜で 6 日間にわたり、国際看護師協会学術集会が開催されました。今、述べただけでも、南先生がこの 15 年間、どれほど看護界にお力を注がれたかは計り知れないものがあります。

お忙しい中でも、私たちに折に触れて看護について教えて下さいました。樺まつりの際は、必ずキャンパスにいて下さり、模擬店で昼食をされ、講演を行って下さいました。

この場をお借りして心から感謝申し上げます。

平成 19 年 3 月 29 日 (土) に南先生から最終講義と、南先生と夢を語る会 (詳細はけやき会 HP をご参照下さい) が行われますので、皆さんもぜひ、お集まり頂き先生に感謝の気持ちを伝えて頂ければと思います。

また、9 月にけやき会主催セミナー「実践に役立つ、今すぐ使える看護研究法！」について坂下玲子先生にご講義いただき、卒業生以外にも学内外より 100 名を超す方々にお集まりいただきました。臨床からは、卒業生でもある県立加古川病院の林泰範さんらが行われている研究を例に挙げ、量的研究について教えていただきました。

坂下先生、林さんとそのメンバーの方々、またセミナーにご参加いただいた皆様ありがとうございました。

セミナー終了後には、第 11 回総会を行い、活発な意見をいただきました。次年度は、兵庫県立大学の同窓会である校友会 (仮称) が立ち上がります。まだまだ、話し合うことが山積みのけやき会ではありますが、これからもご意見、アドバイスの程どうぞよろしくお願いいたします。

保健・医療・福祉・教育など様々な現場で人々のニーズにあった看護を作りだし提供できるよう、専門看護師や管理者、教育・研究者を育成しています。



看護学研究科長 片田 範子

看護学研究科には博士前期課程（修士課程）と後期課程を置いています。共通している考え方の基本は臨床に強い人材を育成することです。修士課程の臨床領域では専門看護師として活躍できる高度な実践家を育成できるように教育課程が組まれています。すでに7分野が日本看護系大学協議会の専門看護師教育課程として認定されており、修了生が専門看護師として活躍しています。また、組織看護や災害看護、国際看護など近年看護の必要性が見直されている分野も設置しています。これらの領域では今年度より研究コースが設置され、臨床の課題にこだわりつつも博士前期課程として看護研究の基礎を学び、教育・研究者を目指す仕組み作りをしています。20年度からは在宅看護も立ち上がる予定です。博士後期課程では人々が健康にその人らしく生活していく上で必要となる多様な看護現象を独立して研究できる人材を育成しています。先駆的な取り組みも歓迎です。21世紀 COE プログラムで培ってきた災害看護の拠点づくりはこれからも地域ケア開発研究所・WHO 指定研究協力センターと協働して継続します。明石キャンパスの中に地域ケア開発研究所が有ることで、まちの保健室や訪問看護など地域と交流し実践する場が提供され、ともに研究・教育・実践の循環を推進していきます。

大学院看護学

研究科の案内

Graduate School of Nursing Art and Science
University of Hyogo

学びの特色

看護学研究科博士課程は、前期課程、後期課程の2課程からなっています。前期課程は、専門看護師を養成する高度実践看護コースと、看護の研究者を養成する研究コースからなっています。研究コースは5年間の課程を継続して履修することが望ましいですが、前期課程のみで修士の学位を取得し修了することもできます。高度実践看護コースは、臨床で活躍する専門看護師を養成することを目的としています。後期課程への進学も可能です。



トピックス

1. 高度実践看護コース（CNS コース）にも長期履修制度が利用可能になりました。
2. 研究コースが今年度から博士前期課程に開設されました。
3. 在宅看護学が来年度から博士前期課程の専攻分野に加わります。

博士前期課程

専門分野	高度実践看護（CNS）コース	研究コース
生涯健康看護分野	母性看護専門看護師教育課程認定 小児看護専門看護師教育課程認定 精神看護専門看護師教育課程認定 慢性看護専門看護師教育課程認定 老人看護専門看護師教育課程認定	母性看護学 小児看護学 精神看護学 成人看護学 老人看護学
看護基礎科学分野	がん看護専門看護師教育課程認定	がん看護学 看護生体機能学 看護病理学
広域健康看護分野	認定看護管理者認定事業を受けられる課程 認定を視野に入れて履修を構成 認定を視野に入れて履修を構成 認定を視野に入れて履修を構成	組織看護学 地域看護学 看護生体機能学 国際地域看護学 災害看護学 在宅看護学

注）「認定」とは、日本看護系大学協会の認定制度による認定を意味する。

博士後期課程

専門分野	専攻分野
生涯健康看護分野	母性看護学 小児看護学 精神看護学 成人看護学 老人看護学
看護基礎科学分野	がん看護学 看護生体機能学 看護病理学
広域健康看護分野	組織看護学 地域看護学 国際地域看護学 災害看護学

博士前期課程

募集する 専攻分野	専 門 分 野	専 攻 分 野												
	生涯健康看護分野	母性看護学 小児看護学 精神看護学 成人看護学 老人看護学												
	看護基礎科学分野	看護生体機能学 看護病理学												
	広域健康看護分野	組織看護学 地域看護学 国際地域看護学 災害看護学 在宅看護学												
募集人員	該当する専攻分野毎に若干名													
出 願 期 間	平成19年11月26日(月)から平成19年12月3日(月)まで													
選 抜 方 法	入学者の選抜方法は、筆記試験、面接及び出願書類により行													
試 験 科 目	(1)英 語 【看護関連の英文の読解を含む(英和辞典1冊持込可)】 (2)専門科目 【志願する専攻分野より、1科目を受験すること】 (3)小論文 (4)面 接													
試 験 日 時	<table><tr><th>月 日</th><th>科目名</th><th>時 間</th></tr><tr><td rowspan="4">平成19年12月18日(火)</td><td>英 語</td><td>9:30～11:00</td></tr><tr><td>専門科目</td><td>11:30～13:00</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>14:00～15:30</td></tr><tr><td>面 接</td><td>16:00～</td></tr></table>		月 日	科目名	時 間	平成19年12月18日(火)	英 語	9:30～11:00	専門科目	11:30～13:00	小 論 文	14:00～15:30	面 接	16:00～
月 日	科目名	時 間												
平成19年12月18日(火)	英 語	9:30～11:00												
	専門科目	11:30～13:00												
	小 論 文	14:00～15:30												
	面 接	16:00～												
合 格 発 表	平成19年12月21日(金) 14:00													
入学手続期間	平成19年12月25日(火)から平成19年12月28日(金)まで 平成20年1月4日(金)から平成20年1月9日(水)まで (土・日を除く)													

大学院へ行こう！

兵庫県立看護大学を卒業して、全国で活躍している皆さん！お元気ですか！

今年度、看護学研究科の広報委員の水谷です。今年も兵庫県立看護大学修了生の専門看護師(CNS)がぞくぞく誕生しています。あなたも挑戦してみませんか。私の専門分野は老人看護で、過去10年間の修士課程の修了生は20名です。現在CNS認定者は6名ですが(全国の老人看護CNS認定者は13名ですから、がんばっています)、全国各地の病院で看護師長・看護主任などのポストを得て老人看護CNSのパイオニアとして活躍しています。また、修了生の中には教員やさらに博士後期課程に進学したり、託児託老・派遣サービスを開設したりユニークな活動を展開しています。あなたも、専門職としての自分に成長するチャンスを与えてみませんか。まずは大学開催の各分野の症例検討会等に参加してみるから始めてはいかがでしょうか。ぜひ各分野の担当者に問い合わせをして下さい。お待ちしております！(P.7の老人看護研究会も参考にして下さい。)

※上記の大学院入学試験に関する情報は、平成19年12月現在のものです。詳細については、大学ホームページまたは下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先 * 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13番71号 電話(078)925-9404 URL <http://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/>

大学院生(博士前期課程の皆さん)からのメッセージ



データ分析中:

難しい顔に飽きたら笑顔を見せて下さい

**title: 皆様、変わらずお元気でしょうか。
現在、学生をしています。**

竹原 歩（2期生） 精神看護学専攻

私の大学院進学動機について少しお話しさせていただきます。

私は、看護学部を卒業後、公立病院の救急病棟、ICUで看護師として勤務してまいりました。その経験の中で、せん妄状態にある患者さんを多くみました。チューブトラブルや転倒など事故の危険性を追われるのですが、ふと患者さんのお顔を見てみると、不安に満ちた目、混乱した表情と言動、恐怖感を強く強く感じました。患者さんの非常に苦痛を伴う体験が想像できます。私には、せん妄患者さんに対するグッド・プラクティスがあります。見当識障害のある患者さんも、自分で食事を摂ることができるかもしれない。夜眠れていないけれど、テレビを楽しむことができるかもしれない。患者さんができることを大切に、できることをできるようにケアしていく。こうしたケアの継続が、せん妄状態の改善につながっている実感がありました。患者・看護師関係の中で行われる日常生活援助に、せん妄ケアの本質があるように思ったんです。このケアが何かを知ることが進学した動機の一つです。

ではなぜ、精神看護学を選んだかを話し始めると長くなりますので、この文章はここで終わりにします。ぜひ皆様も大学院に進学されて、お話ししましょう。

一週間のスケジュール:

	月	火	水	木	金	土	日
1 限	データの分析	講義 (看護コンサル テーション)	データの分析	スーパー バイズ	実習	スイミング ス ク ー ル (子供)	明石公園で 遊ぶ
2 限							
3 限		データの分析	グループ ワーク			昼寝	昼寝
4 限							
5 限							

1回生の時分は、週3・4日講義を受けていました。仕事を離れ、勉強するということがとても刺激的で楽しかった。そして残りの週1・2日は実習です。近隣の精神科の病院に行っていました。また、大きな休みにまとめて実習に行ったりもしています。2回生になると実習と修士論文の取り組みが主で、講義は数える程度です。私の研究テーマはせん妄患者さんの事例研究なので、実践の延長上にある感覚で取り組んでいます。



グループワーク中:
グループワークでは意見を交換し、考えを深めていきます。

現在はデータ分析をしています。朝、自転車に子供たちを乗せ保育園に行き、大学でコンピューターに向かいます。夕方、お迎えに行き、その帰りに夕飯の買い物をする。夕食、お風呂をすませ、子供たちに読み聞かせしながらいっしょに寝ています。学生主夫です。

とある1日の過ごし方:

4:00	起床(朝はとても早い)、パソコンに向かう。
7:00	ほか家族起床、朝食。弁当を作る。
8:00	子供たちを保育園に連れて行く、自転車。
9:00	大学、担当教授のスーパーバイズを受ける。
12:00	昼食、お弁当。
13:00	散歩、明石西公園。
14:00	図書館で資料を探す。その後、同級生とお茶とおしゃべり。
17:30	子供たちのお迎え、夕飯の買い物。
19:00	夕食、お風呂。テレビを観たり、本を読み聞かせたり。
21:00	就寝(夜はとても早い)。

title: 渡る世間は菌ばかり

池原弘展（3期生） 看護病態学専攻（研究コース）

思い立ったら抑制が効かない性分のため入ってしまった大学院。今回けやき会の方から依頼を受けたので何かしら大学院の魅力を伝えられたら良いなと考えています。

現在、私は博士前期の2回生で手指衛生に関わる研究をしています。感染に敗れ亡くなられていく患者様の凄惨さがその理由にあります。病院関連感染対策の中でも重要度の高い伝播経路の遮断。そのために大事な手指衛生。単純なようで奥が深い。深いので沈んでいます。たまに浮かんで日光浴。



顕微鏡で菌を観察中

例えば集中治療室で7年間。何とか仕事をこなしていた時にふと思う「立派な大人になりたいな。なってないな。よし勉強でもしてみるか。やるなら必死で。」仕事も結婚もしている社会人としては失格とも言える思いつきでの大学院入学。英語が読めない。ついていけない。しかし、周りの学生がパワーに溢れている。そのパワーに乗っていく。研究テーマが決まれば実験、データ分析に没頭。自分が明らかにしたいことに好きなだけ時間と力を注ぎこむ。それが魅力か？ある意味、人生の中の休憩時間なのかとも思います。

実践演習の無い講座なので、臨床をイメージし研究結果が還元できることに注意しつつ日々データと格闘しています。

それにしても、手指の上には菌がいっぱい。悪い奴ばかりではないけれど。



クリーンベンチ：無菌操作で菌を採取します

そんな私の1週間：

	月	火	水	木	金	土	日
1限						家事	散歩
2限	データ採取	コロニーカウント	データ採取	コロニーカウント	データ分析		
3限						入浴	入浴
4限	文献検索・抄読	スーパーバイズ	文献検索・抄読	休憩	論文抄読会	TV・読書	頭の体操
5限				文献抄読			
6限	GYM	データ分析	GYM		GYM	就寝	散歩
放課後							

月～金 9:00～18:00 実験室で悶々とする。たまに院生控え室や助手の方に会い孤独感を癒す。土はoff。日は体力づくり。講演会、勉強会などあれば随時参加。

統計処理に悩みぬき、階段を彷徨う。気づくと独り言。その声に驚く自分。誰にも見られてなくて良かったと安心する。

とある一日：

7:00	目覚ましテレビを見る。
8:00	とくダネを見る。
9:00	研究協力者から細菌採取。
11:00	実験室の掃除。
13:00	前日採取した細菌のコロニーカウント。
14:30	担当教官からスーパーバイズを受ける。
16:30	コロニーカウントの続きを行う。
18:00	統計処理について質問に行く。
19:00	データ分析を進める。
22:00	燃え尽きる。



データ分析中。データの示す奥深さに苦慮します。



title: 私にとっての大学院の意味

山本裕子（3期生） 国際地域看護学専攻

2006年の7月までの2年間、メキシコの近くにあるホンジュラスという国で、青年海外協力隊の保健師隊員として活動していました。協力隊として参加することは、学部生の頃から希望していたことでしたが、実際に活動してみて、自分自身不足していた知識や技術、活動から生じた様々な疑問点等を新たに発見することができました。帰国後就職することも考えましたが、これらが不消化のままだと、今後には生かすこともできないと考え、大学院進学を決めました。森口教授の講義内容は、開発途上国での地域看護活動には欠かせないものばかりで、進学して良かったと確信しています。例えば、修士1回生前期の講義では日本の地域

看護活動史を振り返りましたが、住民の健康状態改善に対して保健師の果たしてきた役割の大きさを実感し、また、日本の過去の地域看護活動は開発途上国における活動に活かせることを再確認できました。後期では実際の方法論について学んでいます。大学院生活は、想像以上に学ぶべきことが多く多忙ですが、じっくりと問題・追究意識を持って勉強できる機会であり、今後の人生のための貴重な財産になるのではと感じています。同期には、自分とは違う各専門分野で追究し続けている仲間がいますので、彼らから新たな知識を与えていただくことも多いということも大学の利点だと感じています。

とある1日の過ごし方:

講義の時以外は、ほぼ大学院自習室で過ごし、グループワークや課題消化に充てています。土日にも、課題に取り組んでいることが多いため、運動不足となります。健康第一!ということで、夕食後に時々「ブートキャンプ」に入隊し、汗を流しています。秋には、たまに大学の隣の公園を利用してジョギングしていました。

1週間のスケジュール:

	月	火	水	木	金	土・日
1限	実践看護法	看護と保健政策			自習 (グループワークや課題) ほぼ大学院自習室にて	課題が終わらないため、日曜日は課題消化がメイン
2限	自習 (グループワークや課題)	臨床疫学	英語エッセイの書き方	国際地域看護活動論		
3限		自習 (グループワークや課題)	自習 (課題)	自習 (グループワークや課題)		
4限		心理療法原論				
5限	看護研究法Ⅲ					



title: 自分を成長させてみよう

大内紗也子（6期生） がん看護専攻

こんにちは。修士1回生の大内紗也子といます。6年前に兵庫県立看護大学を卒業し、5年間都内の病院で働き、今年母校に戻ってきました。

戻ってきたきっかけは、総合看護の指導教官だった先生に言われた言葉がきっかけです。私は働いていたとき、何かに迷ったり、悩んだりしたとき先生に相談をしていました。3年目くらいまでは「もうちょっとがんばりなさい。」と言葉をかけてもらっていたのが、4年目くらいからでしょうか。「あなたの限界はそこよ、それ以上の成長は大学院で学ばないと無理よ。」と言われました。それでも、臨床が好きで働き続けていましたが、5年目になり、無菌室で造血幹細胞移植を受ける患者さんの看護を行う中で自分の限界を痛感しました。奇跡を信じて治療する患者さんたちの「こんなはずじゃなかったのに。」という言葉に私自身無力感を感じ、一方で奇跡を起こした患者さんに感動する中で、何が血液科の看護なのかわからなくなる日々でした。進学して、さらに学べば今までの悶々とした気持ちも払拭できるのかも、期待に胸を膨らませていました。

進学し、半年が立った中で何か私の中で変わったのか? 残念ながらまだ変わっていません。でも現象を的確に見定める能力をつけたい、情報をしっかりと把握しそれをどう看護に生かしていけばよいのかつかむ力が必要だということなど今はまだできないにしても何をどうしていけばよいのか方法論は学べているように感じます。1年半後果たして私は自分自身で成長を感じることができるのか。それは今のがんばりにかかっているはず。頭だけではなく、心の成長も期待して今は日々課題と授業をこなす日々です。

月曜日の過ごし方:

6時30分起床→大学へ→1限講義→5限までの間に文献などを調べたり、プレゼンテーションなどのグループワークをしているとあっという間に夕方になっています。→5限講義→7時くらいまで講義後も調べ物をしたりしています。

その後帰宅するのですが、月に1度か2度は同期とご飯を食べたり、友人とご飯を食べに行ったりしています。前期は比較的自由があったのですが、後期に入り実習と講義が同時にあるために気がつけば1週間が終わっているといった感じです。非常に学びの多い充実した毎日を送っています。休日にもなにか追われているような感じだったりもするのですが、最近は理論家についてのプレゼンテーションをおこなうという課題があり、そのためにベナー看護論やそれにまつわる本を読んだりしていることが多いです。あまりずっと学校のことに追われているとつかれてしまうので、土日どちらかはボーッと過ごすようにしています。

1週間のスケジュール:

	月	火	水	木	金
1限	実践基礎看護学	看護と保健政策	実習	実習 スーパーバイズ	実習
2限					
3限				がん看護治療論	
4限		看護ヘルスアセスメント		症状緩和論	
5限	看護研究法Ⅱ・Ⅲ				

大学院案内

(研究棟 4階)



掲示板。何か新しい情報はないかな。



控え室です。
みんなの顔をみて、励まされたり、
ホッしたり。



給湯室。ここでコーヒーや紅茶を作ってひと息つきます。



活躍する卒業生

今回は関東でご活躍されている卒業生に
近況をうかがってみました。

MESSAGE
2008
January

2007年冬を迎えて

4期生
原田奈津子

4月から横浜で7年ぶりに学生生活を過ごしています。学生に戻ったという開放感や自由な時間を手に入れたという期待に胸を躍らせたハネムーン期は夏の暑さとともに消え去り、今は自分の課題と看護や看護を取り巻く学問の広さや深さを目の前に途方に暮れる毎日です。7年ぶりに病院実習にも行き、忙しい病棟で邪魔にならぬよう、しかし学部時代のように空気のような存在にはならぬように、あれこれ考えたり気を使ったりしながら患者さんと楽しく過ごしています。学部時代の実習が懐かしくもあり、あの頃とは違う気の使い方や動き方をしている自分に三十路を迎えてしまうことを思わず実感させられる二度目の学生生活です。

思ったよりもハードな学生生活の現実をようやく受け入れ、右往左往しながらもその現実を腹をくくりつつ学生生活も1年を迎えようとしています。この1年の学びを整理するにはまだまだ時間がかかりそうですが、看護以外の医療職者や医療以外の領域を専門とする学生が集まる学びの場に身を置き、社会の中での看護の認識の低さや曖昧さに驚かされ、そして自分たちの専門性や実践を伝えることがどれほど重要であり困難なことなのかを何よりも痛感した1年であったように思います。そのような体験から、生活の援助を通して人の健康を支援するという看護の役割の大きさを感じながら学びを深めています。

港町横浜は、おいしい中華料理とロマンチックな夜景、そして海。神戸の街を思い出しながら日々楽しみ、30代という人生の新たな節目を迎え、気持ち新たに元気に楽しく残り1年の学生生活を送りたいと思っています。

東京での看護師生活もはや8年

4期生 東京大学医学部附属病院
小児ICU所属
前田 美香

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？早いもので卒業してからもうすぐ8年の月日が流れようとしています。私は就職の際、東京女子医大の小児心臓外科ICUの配属だったこともあり、転職時に病棟希望をしてもICUや小児ICUといった集中治療室に配属され続けています。現在ではこれも経験！と考えるようになりましたが…その分、休みはリフレッシュに費やし、長期休暇には海外旅行と人生を楽しんでいます。

先日、初めて関東支部の集まりがありました。皆、仕事を抱えて多忙な中、学部卒業生や修士・博士課程修了生をはじめ、ICN 学術学会後にかけつけてくださった片田教授と楽しく有意義な懇親会となりました。いろいろな病院の臨床のこと、修士・博士課程修了生の貴重な意見など、同じ大学で学んだもの同士だからこそ話せる雰囲気になんか懐かしさを感じました。

今でも3交替のICU勤務のため、なかなか母校に足を運ぶ機会も少ない私には、関東で卒業生が集まれることは素晴らしいことだと思います。新たに東京で働くことを決意した卒業生の情報源として少しでも役に立てるよう、年に1回くらいは開催されればと思っています。

学生時代を振り返るとあの頃は若かったなあ〜と痛感します。私もですが、同期生のほとんどが昨年で30歳の台にのりました。臨床で働き続ける人や、修士課程に進学した人、結婚して子育てに励んでいる人など様々ですが、皆頑張っていることに変わりはないと思います。私も輝く30代でいるために、仕事もプライベートでも「何事も楽しむ」こと、「誇り」を持つことを忘れずに努力していこうと思います。

卒業生の皆様も仲間を大切に、体調など崩されないよう頑張ってください。

けやき会では今後も卒業生の活躍を紹介していきたいと思っています。

けやき会より依頼があった際には御協力頂けますようよろしくお願い致します。次はあなたかも!!

大学からのご案内

「兵庫・老人看護研究会」のご案内

兵庫県立大学看護学部 老人看護学領域では、明石キャンパス内で、本学修士課程修了者・老人看護 CNS・大学教員が集まり、「老人看護研究会」を年3回開催しています。老人看護に関する臨床現場での事例検討や最新のトピックス紹介を行い、活発な意見交換を行っています。

高齢者の看護に悩んでおられたり、少しでも興味をお持ちの方は、お誘い合わせの上ぜひ一度ご参加下さい。

平成20年度の研究会開催日程等につきましてはけやき会 HP で随時ご案内いたします。興味を感じていただけた方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

代 表： 兵庫県立大学看護学部 生涯健康看護講座 老人看護学 水谷信子
事務局： (同) 久米真代 E-mail: masayo_kume@cnas.u-hyogo.ac.jp



老人看護研究会の様子



働くパパ・ママをサポート!

カンガルーネット

サポーター研修受講者募集!



サポーター随時募集

登録料無料

兵庫県看護協会内
カンガルーネット事務局
<http://www.hna.or.jp/>

「子どもさんが発熱です。すぐにお迎えに来てください」と保育園から電話を受けた時、働くパパ・ママは本当に困ります。迎えに行きたいけど、今は難しい...

こういう非常事態にサポーターが保護者に代わってお迎えに行き受診に付き添ったり、受診後の子どもさんを自宅等で預かりをしたりする新しい相互援助活動です。

兵庫県看護協会では平成18年度12月に厚労省から委託を受け、現在尼崎市・姫路市にて「ひょうご病児等緊急サポートネットワーク事業（カンガルーネット）」を展開しています。

この活動には、働くパパ・ママの子育てにご協力いただける看

護師のサポーターの存在が不可欠です。サポーター活動に関する研修を企画しています。仕事を持っていても、空いてる時間での協力で結構です。ご興味をお持ちの方！是非ご友人をお誘いの上お気軽に研修会にご参加ください。

地域社会で安全に子育て、看護の目で健やかな子育てを実現させましょう。

【問い合わせ先】

月～金曜 9～17時

兵庫県看護協会内 カンガルーネット事務局

電話…078 (341) 0190 担当…上坪・熱田

詳細については、兵庫県看護協会 HP でも紹介しています。

「慢性病看護事例研究会のお知らせ」

成人看護学研究室では、事例を通して慢性病看護を考える「慢性病看護事例研究会」を開催しています。本研究会は今年で30年目を迎えます。これまでの研究会では、糖尿病、肺気腫、慢性腎不全、脳血管障害などの事例を題材に、慢性病看護について討議してきました。その他、事例研究の方法についてのレクチャーや、実践における倫理的問題についてのパネルディスカッションも行いました。

今後も、兵庫県立看護大学の卒業生や修了生の方、病院看護師の方など慢性病看護に関心をお持ちの様々な方にご参加いただきたいと思います。

今年度の開催予定を下記にお知らせいたします。どうぞご参加ください。参加についての詳細は、連絡担当河田までご連絡ください。

■ 平成20年度開催予定日：

平成20年 5月15日(木)、7月31日(木)、
9月11日(木)、11月13日(木)、
平成21年 2月19日(木)

■ 時 間：19:00～21:00

■ 場 所：兵庫県立大学 看護学部 地下大会議室

■ 参加費：100円（お弁当を希望される方は、別途500円必要です。）

連絡担当：河田照給

TEL/FAX：078-925-9444（直通）

Email：terue_kawada@cnas.u-hyogo.ac.jp

兵庫県立大学同窓会 けやき会 平成 18 年度決算書

平成 19 年 9 月 3 日

収入の部

費 目	平成 18 年度決算額	備 考
会 費		
'96 年度 学部卒		
'97 年度 学部卒		
'98 年度 学部卒		
修士卒		
'99 年度 学部卒	¥10,000	1 人×¥10,000
修士卒		
'00 年度 学部卒		
修士卒		
'01 年度 学部卒		
修士卒		
'02 年度 学部卒		
修士卒		
'03 年度 学部卒		
修士卒		
'04 年度 学部卒		
修士卒		
'05 年度 学部卒		
修士卒		
博士卒		
'06 年度 学部卒	¥900,000	90 人×¥10,000
修士卒	¥98,000	9 人×¥10,000 1 人×¥8,000
博士卒	¥20,000	2 人×¥10,000
雑収入 (利子)	¥4,027	
前年度繰越金	¥6,051,828	
収入合計	¥7,083,855	

支出の部

費 目	平成 18 年度決算額	備 考
I ホームページ		
年間管理費	¥10,605	
運用費	¥103,320	
II 桜まつり		
消耗品費	¥13,164	演台用装花、接待用菓子、文具 他
講師謝礼	¥10,500	
講師交通費	¥6,000	
III 事務		
消耗品費	¥5,200	個人情報保護シート (会員住所登録葉書)
雑費 (印字サービス)	¥0	
台帳管理・修正	¥53,420	
通信費	¥7,760	住所登録用葉書購入 他
IV 総会		
消耗品	¥138,621	総会告知用葉書、郵送料
講師謝金	¥0	
V 会報		
会報作成・郵送費	¥110,505	
VI 関東支部立ち上げ		
交通費	¥27,520	関東支部立ち上げに関する会議 (横浜)
支出合計	¥486,615	

平成 18 年度決算残高 **収入総計 ¥7,083,855**
支出総計 ¥486,615
差引残高総計 ¥6,597,240

平成 18 年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 西平 倫子 (印) 安井 久美子 (印)

けやき会からのご案内

けやき会主催セミナー



第11回 総会



けやき会からのお知らせ

第 11 回総会により、同窓会の名称が、兵庫県立大学同窓会けやき会となりました。また、多くの方にお問い合わせをいただきました 2008 年 3 月 29 日 (土) の南先生の講演会 (昼) のみの参加は無料です。

前回の会報でお知らせしておりました、関東支部の立ち上げについては、2007 年 6 月 1 日の会議の結果、現段階では立ち上げは行わず、メーリングリストの作成や懇親会を主な活動として行っていくこととなりました。

第 2 回 桜まつり

今年度は、けやき会主催の講演会で、地域で看護の新しい分野を切り開き、独自の活動を展開されている 2 名の方々に講演をお願いしました。そして、その方々の持つアイデアや、活動の様子を紹介していただき、無限に広がる看護の可能性について考えるとてもよい機会をいただきました。



2007 年度 桜まつりの様子

お一人目は佐野病院内で 2003 年 4 月から看護部より独立した助産科で助産師として活動されている日高珠実さんをお願いしました。日高さんは、現在、助産科外来・産褥新生児ケア・分娩と夜勤・待機などの継続ケアを実施されており、講演の中では、妊婦の方との関わりや実際の水中での出産の様子を映像を通して紹介していただきました。

また、もうお一人の講演者として、株式会社 Kid's Power (キッズパワー) を経営されている江口博美さんに活動をお話しいただきました。株式会

社 Kid's Power では発達障害を持つ子どもへの家庭訪問による教育サービスや、発達障害を持つ子どもへの小集団に対する就学スキルトレーニング、発達障害を持つ子どもの家族に対するペアレントトレーニングなどが行われています。江口さんからも、実際の子どもの関わりを映像を通してご紹介いただき、子ども達の成長について教えていただきました。

そして、最後に「地域に広げよう、看護の力を」をテーマに南裕子先生に講演をしていただきました。

もちろん講演会以外にも桜まつりでは、在学生による足浴・アロママッサージ、教員によるまちの保健室、献血、大学院生によるパネル展示や進路相談、模擬店、地域の方々を主軸としたバザーやフリーマーケットといった催しが開催されていました。

地域ケア開発研究所の災害ブースでは、防災グッズの紹介やパネル展示、災害の備え度チェック、AED デモンストレーションなどが行われました。このように専門的な講演や催しを通して、地域の方々との交流など幅広く看護のおもしろさを体験できる桜まつりとなりました。

来年度は 2008 年 5 月 18 日 (日) です。開学記念日と重なりますので、卒業生の皆様も大学を懐かしむ気持ちで友人をお誘いあわせの上、ご参加下さい。

役員と共に活動して下さる方々も常時募集しております。
 (詳細は庶務の木村まで、ご連絡下さい。tel : 078-925-9418)



学部生によるアロマセラピー (ハンドマッサージ) の実施

けやき会新役員 (任期 : H19 年 9 月 ~ H21 年 9 月)

会 長	池原由布子 (平 11)	書 記	金子 友美 (平 14)
副会長	西原 沙織 (平 16)	書 記	福田 智子 (平 14)
"	東 知宏 (平 12)	庶 務	木村由佳里 (平 11)
会 計	檜橋 明子 (平 13)	"	茅野 友宣 (平 12)
"	谷口真由美 (平 16)		

編集後記

皆様、今回の会報はいかがでしたか？今回は卒業生や大学院生の方々にたくさんメッセージをいただきました。いろいろな皆様のご協力により、少しずつ会報が形になっていく様子をみていると本当にうれしくてじんときます。本当に感謝の一言です。

現在、けやき会のホームページをリニューアルしようと考えています。ホームページや会報に関してご希望やご感想等ありましたら、info2@keyaki-kai.com までお願いします。皆様の活躍等もどんどん載せていきたいと思っていますので、同じ連絡先にご連絡ください。けやき会役員一同